

第3回市議会定例会

補正予算など決まる

議員等の報酬減額・介護認定審査会委員定数など

12名が一般質問

市政運営について活発な議論

かすがい

市議会だより

主な内容

第3回定例会	2～3P
一般質問.....	4～7P
請願の審査結果など.....	8P



本年度一般会計補正予算など21件を可決、 固定資産評価審査委員会委員など人事案件4件に同意・了承 第3回定例会

平成11年
第3回定例会

平成11年第3回定例会は、6月22日から7月5日までの14日間の会期で行われました。

定例会には、補正予算案6件、条例案12件、一般議案3件が上程されました。

補正予算の主なものは、JR勝川駅前のホテル棟の保留床を取得する第三セクター・勝川開発向けの貸付金 JR春日井駅南口の広場整備 2005年の愛知万博で交通アクセスのなめめとしての役割が期待されるJR高蔵寺駅周辺を、市の東玄関としてイメージアップさせる「高蔵寺駅フラワーカーニーション」の基本構想の策定。

また、条例改正の主なものは、市議会議員の報酬及び市特別職の給与改正に伴うものです。

各議案、請願についてはそれぞれ常任委員会に付託され、専門的立場から詳細な審査が行われました。

一般質問は、7月1日に行われ、12名の議員がさまざまな市政の課題について、市長などの考えをたずねました。

最終日の7月5日には、各委員長から審査報告がなされ、当日上程された人事案件を含めたすべての議案を原案のとおり可決及び同意・了承しました。

また、請願1件については、不採択すべきものと決定し、会期を終了しました。

補正予算

総額32億2811万7000円の補正予算を議決しました。内訳は、一般会計補正額1億1164万2000円、国民健康保険事業特別会計補正額3億1600万円、公共下水道事業特別会計補正額9700万円、老人保健医療事業特別会計補正額8910万7000円、勝川駅周辺総合整備事業特別会計補正額1億1836万8000円、春日井都市計画松河戸土地区画整理事業特別会計補正額9600万円です。

その主な内容は、一般会計では環境マネジメントシステム「ISO14001」認証取得費として1000万円、勝川駅周辺総合整備



備事業ならびに、松河戸土地区画整理事業特別会計繰出金として1億5256万8000円、上条線北工区駅前広場の整備ならびに、道路用地購入費として1億6500万円、ふれあいの家の整備費として3720万円、柏原小学校分離校整備施設設計費として3500万円、子どもの家の整備費として2626万3000円、市民球場の整備費として6500万円、高蔵寺駅フラワーカーニーション整備基本構想策定費として300万円などです。

公共下水道事業特別会計では、高蔵寺浄化センター整備を図るものです。

勝川駅周辺総合整備事業特別会計では、市街地再開発事業貸付金及びコミュニティ住宅用地購入を行うものです。

春日井都市計画松河戸土地区画整理事業特別会計では、物件移転補償を進めるためのものです。

その他、国民健康保険事業特別会計及び老人保健医療事業特別会計は、平成10年度の歳入不足を補うための前年度繰り上げ充用金の補正です。

条例

市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

春日井市特別職報酬等審議会の

答申により、国の常勤特別職にあわせて支給率を改定します。

市議会議員の期末手当の支給率を、6月は100分の20を160に、12月は100分の25を190に減らします。

加算割合を変更します。

(特別職の職員、常勤の監査委員についても同様の条例改正となっています。)

介護認定審査会の委員の定数等を定める条例について

来月4月1日から介護保険法が施行されることに伴い、本年10月からの認定をする審査会が行われず、その審査会の委員の定数を72人以上とし、その内訳は6人1組の合議体が8つと、24人の無任所委員からなっています。

コミュニティ住宅条例の一部を改正する条例について

松新第1コミュニティ住宅の建設が進み、10月入居予定となったことに伴い条例に加ええます。

私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例について

就園奨励費の補助金の額の増額と、補助の対象となる世帯の市民税の所得割課税額の引き下げをするものです。

その他、一部を改正する条例

法律の施行、政令などの改正に伴い、用語の改正・基準の統一のための条例改正など、6つの条例です。



一般議案

ごみ処理施設整備工事の請負契約について

昭和52年から稼働しているごみ処理施設が老朽化し、増大するごみ量に対応するなど環境にやさしい施設に建て替えるものです。

一、工事名 春日井市ごみ処理施設整備工事

一、契約金額 224億1750万円

一、契約の相手方 日本鋼管・西松・高柳・梶田

3 代表者 名古屋市中村区名駅
28 12 日本鋼管株式会社

社名古屋支社

一、工事内容

ごみ処理施設整備工事一式
全連続燃焼式焼却炉

140 t / 日 x 2 炉
灰溶融炉 40 t / 日 x 2 炉
リサイクルプラザ施設整備工事一式

粗大ごみ処理設備

45 t / 5 時間
資源回収設備 25 t / 5 時間

路面清掃車の購入契約について

現在、稼働している路面清掃車を更新するものです。

一、物品名 路面清掃車

一、契約金額 2493万7500円

一、契約の相手方

名古屋市名東区一社2 134

三井物産マシナリー株式会社
中部支店

一、物品内容 四輪ブラシ式路面清掃車

損害賠償の額の決定について

一、損害賠償の額 58万3033円

一、事故の概要 平成10年3月15日

東海自然歩道支線における道路事故

人事案件

人事案件1件を同意

固定資産評価審査委員会委員に市野鬼頭太氏の選任に同意しました。

人事案件3件の推薦

人権擁護委員に森田利夫氏、伊藤とめ子氏、若尾弘子氏の推薦に異議なく了承しました。

第3回定例会

◇上程議案と審議結果◇

補正予算.....6件

平成11年度一般会計補正予算.....原案可決(賛成多数)
平成11年度国民健康保険事業特別会計補正予算.....原案可決(全会一致)
平成11年度公共下水道事業特別会計補正予算.....原案可決(全会一致)
平成11年度老人保健医療事業特別会計補正予算.....原案可決(全会一致)
平成11年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計補正予算.....原案可決(賛成多数)
平成11年度春日井都市計画松河戸土地区画整理事業特別会計補正予算.....原案可決(全会一致)

条 例.....12件

税外収入に係る延滞金に関する条例等の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)
議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)
特別職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)
常勤の監査委員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)
職員退職手当支給条例の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)
市税条例の一部を改正する条例.....原案可決(賛成多数)
消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)
消防団員にかかる退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)
私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)
介護認定審査会の委員の定数等を定める条例.....原案可決(全会一致)
病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)
コミュニティ住宅条例の一部を改正する条例.....原案可決(全会一致)

一般議案.....3件

ごみ処理施設整備工事の請負契約.....原案可決(賛成多数)
路面清掃車の購入契約.....原案可決(賛成多数)
損害賠償の額の決定.....原案可決(全会一致)

人事案件.....4件

固定資産評価審査委員会委員の選任の同意.....同 意(全会一致)
人権擁護委員の推薦.....異議なし(全会一致)
人権擁護委員の推薦.....異議なし(全会一致)
人権擁護委員の推薦.....異議なし(全会一致)



市民を代表して質問します。

今回の定例会では、12名の議員が市の考えや方針など、市政全般について一般質問を行いました。一般質問は、当局に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすために行うものです。各議員の質問と、当局答弁を要旨で掲載します。

市長の見解を求める。

一般質問(要旨)

7月1日、12名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について当局の見解を求めました。

遺伝子組み換え食品対策を

質問 遺伝子の組み換え食品などを、学校給食に使用していない市もある。市民の健康を考えたとき、本市としてどのように対応するのか。

答弁 農作物の安全性や生態系に与える影響については、厚生省



や農林水産省が安全性への評価項目を設定し開発者からの安全性適合の申請に対して個別に確認しています。市としても、市民の健康と安全な食生活の確保を目的として安全性の高い食品を選択する目を養うための講座や啓発事業を通じて消費者行政に反映してまいります。遺伝子組み換え作物が及ぼす影響等について調査研究を進めるとともに、国・県・農協等とも連携を密にし情報の収集を行い、市民への適切な情報提供に努めてまいります。

名古屋空港の周辺整備を

質問 5年目になる中華航空機事故を風化させぬようその惨状を伝える資料の展示対策、空港の消防力整備・協力体制を問う。また、買い上げ跡地の有効活用として、駐車場整備や味美地区へのセレモニーセンターの建設、さらに、NHK受信料の全額補助など地元のニーズに合った施策を問う。



答弁 展示については空港に近いふれあいセンター等が適当と思いますが、展示の目的や内容等について研究いたします。空港の消防力については国際民間航空機関で定められている基準を十分確保しており、定期的に消火、救難訓練が実施されております。市としても周辺市町と緊急時に対応できるよう協力体制をとっています。跡地の利用については制限があり個人対象の駐車場、セレモニーセンター用地としては利用できませんが、今後とも運輸省と折衝して地元のニーズに添えるよう努力します。受信料は受益者負担の原則

委員会・審議会の公開を

に基づくものであり、未払い者の把握はいたしておりません。

質問 法令、条例などに基づく委員会・審議会の女性や公募委員の登用は進んだ。今後は、開かれた市政運営のために、計画や施策などの意思形成過程での審議状況を市民に公開すべきである。特に、関心の高い介護保険や環境関連の委員会・審議会の傍聴を試験的にも可能にすべきではないか。



答弁 委員会・審議会等の会議

の公開については、審議の過程における透明性を確保するため重要なことではありますが、意思形成過程での審議状況を公開することは、未成熟な段階で情報が公にされ、自由な意見の交換や公正で中立な審議に支障を及ぼしたり、個人のプライバシーに関わるなどの問題があります。従って、会議がいかなる性質のものであるかを考慮して会議の公開・非公開を判断すべきであります。今後、情報公開制度の考え方をまとめあげの中で研究していくものと考えております。

ごみ減量とリサイクル対策は

質問 古紙相場の低迷、子ども会（集団回収団体）の解散などの影響により、新聞紙を始めとする紙類が、ごみとして出されるようになってきた。市は、ごみ減量対策の一環として「新聞リサイクル推進会議」を設置する考えはないか。また、委託による古紙回収システムの確立について問う。

答弁 全市的な資源分別収集体制の確立に向け、坂下地区での実施、更には今秋の味美地区での立ち上げと新しい分別の受け皿作りを進めてきています。新しい分別



には古紙が品目に入っており、新聞紙、段ボール、雑誌を資源の日にごみステーションに出していた方法をとっています。平成14年にリサイクルプラザが完成する計画ですが、それまでには、古紙の収集・選別について委託する方法で検討してまいります。「新聞リサイクル推進会議」については、春日井市廃棄物減量等推進審議会で議論してまいります。

介護保険の準備は

質問 介護保険認定審査会などの準備状況はどうか。要介護認定の申請受付は。現在、介護を受けている人で、介護保険に移行しない

サービスは、利用できなくなるのでは。介護保険の保険料の低所得者に対する対策及び市の独自の対策は。



答弁 認定審査会委員の選任については医療、保健、福祉の分野の方々と調整を進めております。また、訪問調査員は保健婦を始めとした専門職員を配置し、電算システムの開発も順調に進んでいます。本年10月の申請受付開始時においてはふれあいセンター等でも受付できる特別な体制とします。

低所得者対策などについては、国の動向を踏まえつつ、介護保険に移行しない介護サービスの提供のあり方や利用者負担の方法等について様々な観点から検討するとともに、新たな福祉サービスの提供なども視野に入れ、その支援策を慎重に検討いたします。

チャイルドシート購入補助制度の導入を

質問 乳幼児の交通事故防止対策として、道路交通法の改正がされ、来年4月より、チャイルドシートの義務化が決まった。幼児年齢に依りてのチャイルドシート選択が必要となる。親の経済的な負担軽減のために、購入補助制度の導入、リサイクル制度の推進の考えは。



答弁 乳幼児の乗車中の安全保護は保護者等の義務であり、チャイルドシートは保護者等が用意すべきものと考えますので、購入補

助制度の導入については、現在のところ予定しておりません。リサイクル制度の推進については現在の不用品ダイヤル制度の利用を推進していきたいと考えておりますが、チャイルドシートの市場が今後どうなるのかわからない面もありますので、不用品ダイヤル制度の活用状況などを見極め、また他市の状況、警察等とも連携を図りながらリサイクル等必要な制度を推進していきたいと思っております。

青少年の 薬物汚染対策は



質問 本市は、ますます都市化が進み犯罪も多発化している。薬物の汚染は、一般市民や青少年にまで広がりを見せている。特に中高生が薬物に対する正しい知識と恐ろしさを認識することが大切である。今後の対策と啓発活動をどのようにして取り組んでいくのか。

答弁 昨年の少年の薬物乱用による補導状況は一昨年に比べ減少していますが、重要な課題であります。地域、学校、警察との連携のもとに青少年問題協議会を中心にふれあい運動、専門家による中学校での講演会、補導員の研修会、シンナー販売店等への協力依頼、駅前広場でのキャンペーン活動など啓発、補導活動を展開しており、今後も積極的に実施してまいります。また、少年サポートセンターの開設等相談体制の強化にも努めています。学校教育の場では、自己抑制、自立心の育成とともに、命に直結することであり、指導を強化してまいりたいと思っております。

「海上の森」での 万博の見直しを



質問 オオタカは、絶滅の危険が増大している猛禽類（もうきんるい）で、全国に一千羽程度しか生息していないといわれる。「海上の森」は、オオタカを始め多様な動植物の生息・自生する里山であり、自然の宝庫だ。市として、ここでの開発事業の中止を国、県に求める考えはないか。



答弁 2005年に開催される日本国際博覧会は、人と自然の共生を考えた新しい博覧会を目指しております。博覧会協会と愛知県では、オオタカをはじめ、貴重な動植物の保護について、専門家を交えた真摯な議論を受けて、会場の変更を決定されました。今後、環境についての配慮は十分になされ、世界の人々から理解と共感が得られる21世紀の幕開けにふさわしい博覧会になるものと確信しております。関係機関に対しては、博覧会のテーマ「新しい地球創造、自然の叡智」の理念が、各種計画、環境に反映され、21世紀を象徴するイベントとなるよう働きかけてまいります。



農業政策の充実を

質問 兼業農家の維持発展のために次のことを問う。
生産緑地の追加申請をし、500㎡以下でも緑地として認め、市街地農地を守る。市民農園の拡充。有機農業への助成拡充。高額な大型農業機械の貸し出し制度を作る。市内の農産物を学校給食に使用する。



答弁 市街化区域の500㎡以下の農地の保全について、特に補助は考えていませんが、所有者の意向により、市民農園として活用してまいります。有機農業については、農協と協力し、講座等を通じ生産者に研究、実践を促してまいります。有機農業野菜価格保証の助成

については考えていません。大型農業機械の貸し出し制度については、利用頻度の問題等があり、現在のところ考えていません。市内の農産物を学校給食に使用するには、品質の安全性や必要数量が確保され、生産流通ルートの確保が可能となれば、今後検討してまいります。生産緑地の追加指定は、市街化区域の編入に伴い、新たに市街化区域内農地となった場合など都市計画合理的と認められるものを除き、現在は考えていません。

介護保険と福祉の充実を

質問 平成12年4月実施に向けての介護保険制度に対し、内容が明らかになるにつれ様々な問題が浮きぼりになってきた。低所得者に対する保険料、一割負担の料金の減免は考えているか。認定からはずれた方や保険に含まれないサービスをするの老人保健福祉計画の中で補助するべきではないか。

答弁 低所得者対策として、保険料は被保険者の所得状況等に応じて段階的に設定されること、及び特別な理由がある者に対して減免できることになっていきます。利用者負担についても、高額サービ



ス費の限度額が別に設定され、特別な理由には軽減することもできません。介護認定の対象外の方への対応は、各方面において様々な議論がなされていますが、本市ではその支援方法をいろいろな観点から検討を重ねています。介護保険に移行しない現行のサービスにつきましても国などの動向を踏まえ検討を加えております。

入札制度の改善を

質問 談合情報があったごみ焼却施設の落札結果は、予算に対して6・72%少ないだけで、最高値の入札はわずか1・48%の差であった。公共事業の入札の透明性や公正性を確保するために、予定価格の事前公表など情報公開を行い、市民監視のもとでの入札・契約制度の確立が必要ではないか。

答弁 現在入札制度検討委員会では、入札制度の改善について調査研究を進めており、予定価格の事後公表は、調査研究の結果、公表に向けて具体的な方法等の検討を行っています。また、予定価格の事前公表は、予定価格が目安と

なって競争が制限される、落札価格が高どまりとなる、談合が一層容易に行われる可能性がある等、問題点があげられ、非常に難しいと判断しています。今後、公募型指名競争入札等多様な入札方式の採用等を含め、透明性、公平性、競争性の向上を図るため、さらに調査研究を進めてまいります。今回の7企業体の入札額の差は、競争原理に基づいて入札された結果と考えています。



掲載以外の主な質問項目(質問順)

- 少子高齢化対策について
- 市民参画の情報公開制度について
- 公共施設について
- 地方分権について
- 県の補助金カットの影響について
- 学校給食について
- チャイルドシート義務化について
- 少子化対策について
- ホテル事業について
- 排水路及び農業用水路等について
- 清掃行政について
- 道路行政について
- グラウンド使用許可証、扱いについて
- 職員及び管理職について

請願審議

第3回定例会に提出された請願は1件で、第1日目の本会議に上程された後、委員会に付託され慎重に審査が行われ、7月5日の本会議で、委員長の審査結果報告の後、採決され、結果は次のとおりです。

県の福祉への補助金削減に反対し、安心できる介護保障の確立を求める請願書

(提出者＝愛知県社会保険推進協議会議長)

・・・不採択

委員会を傍聴しませんか

議会活動をより市民の皆さんに身近なものとするともに、開かれた議会をめざして、常任委員会及び特別委員会が傍聴できるようになりました(現在、特別委員会は設置されておりません)。

なお、傍聴できる人は、委員会開催日の午前8時30分から午前8時45分までに、傍聴許可申請書を議事課に提出し、委員長の許可を受けた人です。

ただし、傍聴希望者が5名を超えた場合は抽選となります。

委員会開催日程については、議会事務局議事課にお問い合わせください。(☎ 6492)

市議会のおはなし

委員会

最近は、地方公共団体の事務が広範多岐にわたり、市議会で取り扱う問題は数が多く、内容も幅広い分野にわたっています。

数多くの事件を会期内に、しかも迅速に処理するには、専門的・能率的に審査する必要があります。



本会議は、議会としての意思決定の場でありますが、委員会は本会議の予備的・下審的な機関であり意思決定機関ではありません。

第4回定例会予定

9月10日(金)＝本会議
(議案の提案理由説明)

9月14日(火)＝本会議
(議案質疑・委員会付託)

9月27日(月)＝本会議
(一般質問)

9月28日(火)＝本会議
(一般質問)

9月30日(木)＝本会議
(委員長報告・討論・採決)

議事の都合により日程が変更になる場合がありますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせ下さい。(☎ 6492)

編集後記

日本の国には、四季の変化があるように、議員にも4年毎に改選があり新・元・現の36名が議場に集り第15期の構成をみた。世の中は、リストラ・改革と呼び声高く更に情報公開と行政に対する批判は手厳しい。市民生活の多様化に議会も対応していくことが求められる。インターネットが広まって国内のみならず海外情報を迅速にキャッチし、政治の場面に生かしていく。有効性が今後の課題と思う。

編集委員一同